



山ウォーキング

火災の危険がある日の山歩きは控えましょう。万が一山火事に囲まれたときは以下の行動をとりましょう。

- 決して炎を追い越そうとしないでください。
- 炎が自然に途切れている部分、例えば細流や開拓地、岩などの露出部分に向かいましょう。
- 炎が向かう高台には行かないでください。
- 地上の水タンクには決して避難しないでください。
- 身を何かで覆うか、岩などの硬いものの陰に隠れたりし、放射熱から身を守ってください。

キャンプやハウスポート

キャンプやハウスポートで休暇中の人々は地域の火の元規制について把握しておきましょう。

キャンプやキャラバンパークに滞在する場合は指定された安全な避難場所を確認しておきましょう。レンガ造りの建物やシャワーブックなどが最良です。

発電機を使う場合は十分な注意を払い、使用方法をしっかりと把握しておきましょう。火気の使用やバーベキュー等に適用される制限。

国立公園を訪れる場合は、地域により火気使用やバーベキューの規制は異なるため、警備隊に尋ねましょう。

これは川沿いで火を使う場合、ハウスポート使用者に適用されます。

休暇の火災安全策

山火事は、警告なしに発生する場合があります、休暇を過ごす場所にすばやく影響を及ぼすことがあります。休暇を外で過ごす計画をしている場合は、山火事安全策や山火事の危険を避けるための対策をしておきましょう。

このリーフレットはこの地域で山火事が起きた場合に役立つ情報が載っています。

旅行に出発する前に

- 旅行先の地域での火気使用禁止区域と火災危険度を前もって調べておきましょう。
- 暑く、乾燥し風の強い日に出かける時は、山火事が起こりやすい場所を避け、いつでも旅程を変更できるようにしてください。
- 火気一切禁止を含む火気に関するあらゆる規定を調べておきましょう。
- 調理や暖めが必要でないピクニック向けの料理を持っていくよう心がけてください。
- あなた自身とあなたの自動車が緊急時に備えられていることを確認してください。
- 行き先を友達や家族に告げ、もし大きな予定変更があれば、それも伝えておきましょう。

あなたが旅行に出ている場合

- 山火事が発生している区域への立ち入りはご遠慮ください。
- 常に警戒して行動しましょう。 公式の警告を待ってはいけません。
- 日ごとの火災危険度をチェックし危険度の高い日には山火事を起こさない安全なアクティビティーを楽しみましょう。
- 火災の危険度が高い日にはキャンプ場や公園が閉鎖される場合がありますので、注意してください。キャンプ場から離れるよう指示が出る場合もあります。
- もし煙を見たり、煙のにおいがしたりした場合は危険な山火事が身の回りで発生していないか、確認してください。このパンフレットに掲載されている緊急ラジオを聴くか、山火事情報ホットライン1300 362 361 (難聴者133 677) に電話しましょう。

火事を報告するには000に電話してください。緊急警告や警報を聞くには緊急ラジオパーソナターのいづれかを聴きましょう。

SA 緊急放送パーソナター: ABC ローカルラジオ、FIVEaaラジオ、Skyニューステレビ、WINテレビ、COM-Share ラジオオーストラリア

SAラジオ周波数		
アダレード	891 ABC アデレード	891 AM
アダレード	クルーズ1323	1323 AM
アダレード	FIVEaa	1395 AM
アダレード	ノバ91.9	91.9 FM
アダレード	ミックス102.3	102.3 FM
アダレード	トリプルM	104.7 FM
アダレード	SA FM	107.1 FM
アングラム	ABC北と西	105.9 FM
セドナ	フローFM	106.1 FM
クレア/ミッドノース	フローFM	107.5 FM
クーパーペディ	ABC北と西	106.1 FM
クーパーペディ	フローFM	99.7 FM
クック	ABC北と西	107.7 FM
ケナルパイン	フローFM	97.7 FM
グレンダンボ	ABC北と西	106.1 FM
カブナダハロッサ	フローFM	99.5 FM
キングズコート	フローFM	95.5 FM
キングストンSE	フローFM	107.3 FM

山火事情報ホットラインには000に電話してください。緊急警告や警報を聞くには緊急ラジオパーソナターのいづれかを聴きましょう。
1300 362 361 (難聴者向けのサービスは133 677)
または次のウェブサイトを訪問 www.cfs.sa.gov.au

WDN22817_2010-2011



休日の安全策とサバイバル

山火事が多いシーズン中には



山火事情報ホットライン 1300 362 361
(難聴者向けのサービスは133 677)
www.cfs.sa.gov.au



PREPARE. ACT. SURVIVE.



山火事安全対策のできた休暇

山火事が起こりやすい季節の地方への旅行は危険です。警告のサインなど、自分の身の守り方を知っておきましょう。

火気使用禁止地区

山火事の危険がある季節にはアデレードの中心部を含め南オーストラリアの火気禁止区域全体に火気使用の制限が適用されます。火気禁止か、または規制が適用されているかを確認して旅行しましょう。

あなたの住む地域の火禁止地区を把握していますか。

全ての火気禁止

火災が起きてしまったら制御できなくなってしまうような強風、低湿度、高温などの天気の日にはCFSによりいくつかの区域、または全域に全火気禁止令がでる可能性があります。このような日にはパーベキューやキャンプファイヤーなどのアクティビティーは禁止されます。

今日許可されている事項と禁止されている事項をご存知ですか？

火災危険度

火災の危険度が高い季節には、毎日天候やその他のさまざまな要因から火災危険度が計算されます。この度数は山火事が起きるか否かの予測ではなく山火事が発生した場合にどれくらいの危険度が予想されるかという ことです。

火災の危険性が高い日には

火災の危険度が高い日や全火気禁止の日には一度起きた火災がとても早く広がる可能性が大変高いため、山などへの旅行は延期することをお薦めします。これらの日には、火気規制に従うこととリスクの高い場所でのアクティビティーは控えるようにしましょう。例えば山歩きの代わりにプールへ行ったり、Safer Settlementや管轄区（以下参照）などにある地域のアトラクションへ行きましょう。あなたの地域の旅行センターから山火事に巻き込まれないような休暇の楽しみ方を聞くのもひとつの方法です。

SAで山火事安全な場所の階層

CFSは階層的に提供できる場所を開発しました。山火事からの安全策。詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。CFSウェブサイト：www.cfs.sa.gov.au

最も安全 ↑安全 ↓危険	BUSHFIRE SAFER SETTLEMENT	アデレード 郊外内	予測が悪いときに適しています火災天候や山火事が起こっているとき。
	BUSHFIRE SAFER PRECINCT	指定された郊外 外辺部内や農村部の集落。	次が予測される時用に適しています。火災に悪条件の天候または、山火事中。火花や残り火もその対象になります。
	LAST RESORT REFUGE	農村部の指定された競技場や建物。	長い使用には向いておらず、山火事中は保護能力は限られています。

山火事が発生した場合

周りの状況には常に警戒し、緊急サービスのスタッフや地域のラジオ緊急放送から提供されたアドバイスや指導に従いましょう。（周波数は裏ページを参照してください。）

必ず誰かにあなたの予定と連絡先を伝えておきましょう。

山火事の間に個人の身の安全にとって一番重要な線最前線の火が通り過ぎる5〜10分です。

火災が近づくにつれ、所有地や家屋は、放射熱、炎との接触、残り火、煙、大きな音、暗闇と停電などの対象になります。

放射熱

放射熱によって命を落とす場合があります。身を守るために適切な服装を身にまとい、避難しましょう。

しっかりした構造や的確な服装により、放射熱から身を守ることができます。炎は、頑丈な物体を通り抜けることはできません。つまり、山火事が起こる前にその場を退去することができなかった場合には、しっかり装備された家や構造が一番の保護になります。

個人用防護服

露出されている肌を全て覆い、放射熱より身を守ってください。衣服：

- 天然繊維のできた長袖のシャツやズボン（例えばウールや綿）。
- つばの長い帽子や頑丈な靴、もしくはブーツ。

自動車での旅行

旅行に行く際は自動車が適切に整備されていることを確認しましょう。

山火事に巻き込まれる可能性を考慮し、自動車には常に水とウール製のブランケットを何枚か保管しておきましょう。

自宅を離れる前に山火事を把握している場合は、予定を変更し山火事から影響がある区域には旅行しないでください。旅行中に煙に遭遇したら、すぐ引き返してください。ラジオを聴き、地域の安全な道を通りましょう。

山火事から自動車で身を守る時：

- 深い茂みや枝や葉などの燃えやすいものがない道を探しましょう。
- 視界不良による衝突を避けるために自動車は路上には停車しないようにしましょう。
- 近づく火に対し、自動車の前方を向けましょう。
- ヘッドライトとハザードランプを点灯させてください。
- 全ての窓やドアをしっかり開けてください。
- 車内で待機しましょう。放射熱から身を守るに最適な方法です。
- エアコンを切り、すべての通気口を閉めましょう。
- エンジンとは切ってください。
- 窓より下の足もとにもぐり、ウール製のブランケットで身を守ってください。
- 脱水の危険を最小限に抑えるため水分を十分にとりましょう。

炎が近づいてきたら

- 炎の前線が通過するまで自動車内で待機しましょう。
- 燃料タンクが爆発する可能性はほとんどありません。
- 煙は徐々に自動車内に充満し、自動車の内部からガスなどを発生させます。できるだけ足元に身をかかめ煙の吸引を最小限にし、湿った（濡れていない）布などで口を覆うようにしましょう。
- タイヤやプラスチックのできた外部部品に火がつくことがあります。さらには、自動車の内部部品にも火がつくことがあります。
- 炎の前線が通り過ぎ、温度も下がってきたのを見はかり自動車の外に出てください。（内部の部品は非常に高温ですので、十分注意しましょう。）
- 既に燃えた場所などの安全な場所に移動しましょう。
- ウール製のブランケットに身をくるみ、助けが来るまで水を飲み続けましょう。

	危険度	それはどういう意味ですか？	どうしたらいいですか？
↑ 火災は警告なしに突然発生します。 火災、特に煙や炎の兆候をよく観察しましょう。お住まいの地域の火災危険度、地域の状況を認識しておきましょう。あなたの山火事サバイバルプランとキットをあなたの山火事サバイバルプランとキットを準備しておきましょう。電話火災を報告するには 000 情報が必要な場合は ● 地域のラジオを聴く ● www.cfs.sa.gov.auをご覧ください。 ● または山火事情報ホットライン1300 362 361（難聴者用133 677）に電話してください。 ↓	CATASTROPHIC 全ての火気使用禁止	● これらは茂みや草の火災には最悪の条件です。 ● 一度火がおき安定してしまえば制御することはとても困難で、消火用の設備と低気温などの条件がそろわない限り制御することはとても困難です。 ● 点々とした火災は主要な炎の先に広がります。残り火はあらゆる方向から素早くやってくる可能性があります。 ● 家屋はこれらの状況下で火災に耐えられるようには建築されていません。 ● 山火事が起こりやすい地域から離れた場所が一番安全です。	今すぐ行動してください ● 身の安全が第一です。山火事が起こりやすい区域を前夜、もしくは朝早くに退去することがもっとも安全な選択肢です。 ● すばやく行動しましょう。 決して待たないでください。 ● 森林地帯、深い茂みや長く乾燥した草の多いところは避けましょう。 ● 以下の状況に対して準備をし、知り、実践しましょう。 - いつその場を離れるのか - あなたが行く場所 - その場を離れることができない場合にすること - その場所への行き方 - いつ戻るのか
	EXTREME 全ての火気使用禁止	● これらは山火事などにとって高温で乾燥し強い風の状況です。 一度火が起き安定してしまうと、予測困難になりとてもすばやく広がります。消防士にとっても制御がとても困難になります。 ● 点々とした火災は素早く発生し広がります。残り火はあらゆる方向からやってくる可能性があります。 ● 最高レベルに整備された家屋や山火事保護レベルに合わせ建築された家屋は積極的に保護されています。可能性があります安全を提供します。 ● これらの状況下では、精神的、または肉体的に身を守るための準備ができています必要があります。 ● 山火事が起こりやすい地域から離れた場所が一番安全です。	いつでも行動できるようにしましょう ● 最高レベルに準備が整っている場合のみ自宅で待機してください。しかし、あなたの自宅が山火事保護レベルに建築されていない限り待機してはいけません。例: 囲まれている軒、カバーされた外部エアコン、金製網戸など。 ● 火災が発生した時、あなたの家を積極的に保護できるよう準備されていなければいけません。家での消火用の正しい設備と手段が備わっている必要があります。 例: 十分な水の貯蔵、ガソリン/ディーゼル携帯用ポンプ、発電機、防護服など。 ● もしあなたが最高レベルに準備されてない場合、山火事が起こりやすい場所から早めに退去することが一番安全な選択です。
	SEVERE 全ての火気使用禁止	● これらは山火事などにとって高温で乾燥し強い風の状況です。 ● 一度火がおき安定してしまえば制御することはとても困難です。 ● よく整備された家屋は安全性を提供できます。 ● これらの状況下では、精神的、または肉体的に身を守るための準備ができています必要があります。	知っておくべきこと ● 準備が整っている家屋は安全です。安全な家屋は消火用の正しい設備や手段が整っています。例: 十分な水の貯蔵、ガソリン/ディーゼル携帯用ポンプ、発電機、防護服など。 ● もしあなたが最高レベルに準備されてない場合、山火事が起こりやすい場所から早めに退去することが一番安全な選択です。
	VERY HIGH	● もし火が起きても、これらの状況下や家屋は安全を提供することができます。 ● どのように火災が発生し、危険度を軽減する方法を知っておきましょう。	● あなたの山火事サバイバルプランを確認しましょう。 ● 状況を監視しましょう。 ● 行動が必要な場合があります。 ● 必要であれば退去してください。
	HIGH		
	LOW-MODERATE		